

令和7年度入学式 式辞

本日ここに、東京都立 小金井北高等学校 全日制課程 第46回入学式にあたり、ご多用中にも関わらず、ご来賓の皆様のご臨席を賜るとともに、保護者の皆様にもご列席いただき、このように盛大な入学式を挙行できますことはこの上ない喜びであり、教職員を代表し、厚く御礼申し上げます。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。ここまで、我が子の成長を願い、育ててこられたご労苦を振り返り、感慨もひとしおでは、と推察いたします。世の中が大きな変化を遂げ、今まで信じていたものを本当に信じ続けていてよいのか、誰もが不安を抱く時代ではありますが、学校という教育の場、今日ここに集った子どもたちの世界だけでも、人類が築き上げた真実に触れられる場であり続けたい、と強く感じております。皆様と力を携え、前途ある子どもたちを支えていかれるよう、私どもの持てる力を最大限に発揮し、指導に当たる所存です。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。先ほど240名の生徒のみなさんに入学を許可いたしました。私たち教職員、在校生一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。

本校は、昭和55年に開校し、今年度で46年目を迎える高校です。これまで、「創造」、「自律」、「努力」を教育目標に、次代の日本を支えるリーダーの育成を目指し、すべての教育活動を通じて、生徒の高い進路希望を実現するとともに、学校行事や部活動を通じて、豊かな人間性を育み、自他の文化を尊重出来るグローバル人材の育成等に取り組んできました。そうした本校の卒業生は、政治や経済、文化・芸術、教育など、社会の様々な分野の第一線でも活躍しています。また、東京都教育委員会からの進学指導推進校の指定も15年目を迎え、この春も、これまでの本校の進学実績を上回る結果が出ました。これは、生徒一人ひとりが自分の掲げた目標に向かってひたむきに努力を継続した結果です。実直な本校の生徒たちだからこそ、なしえた成果だ、と確信をしています。本校を選んできた皆さんは、そのような先輩たちと同じように、自分の中で大切にしていること、勉強や趣味、スポーツ等、自分が極めてみたいと思った分野をとことん追求していくような実直な人たちではないか、と思います。

私がこれまで、中学生やその保護者の方に本校を紹介する際に、「本校の自慢は生徒です。どこに出しても自慢できる生徒です。」と紹介しています。この中にも私のそのような紹介を聞いたことがある人もいるかもしれません。皆さんも今日から、その一員です。先輩たちの背中を追いかけて、新たな一步を踏み出す皆さんに、エピソードを一つ紹介します。

3月に卒業した生徒たちが、自分の進路希望を実現するために、どう取り組んだか、後輩たちに受験体験を語る報告会がありました。この会は、勉強法や、苦手科目の克服、志望校の選び方等を先輩たちが自らの体験をもとに語るというものでしたが、その中の一人がこう話しました。

「私は、大学受験が本格的に始まって、高校の授業がなくなった時期が来ても、普段と変わらず、朝の8時前には登校して、学校の自分の席で、勉強し続けました。入学試験前日ま

で、生活スタイルを変えず、学校で朝から勉強していました。」

この生徒は、おそらく、誰もが憧れるような進学先に合格したのでしょうか、その生徒が合格という切符を手に入れたのは、誰も知らない勉強法を知っていたのでもなければ、特別な家庭教師がいたわけでもなく、日々変わらぬ取り組みを実直に続けたからだ、というものでした。

皆さんは「凡事徹底」という言葉をご存じでしょうか。「凡事徹底」という言葉は、ある企業の経営者が使い始めた言葉だと言われ、歴史的な経緯等は特にない言葉だそうです。この言葉の意味は、凡事、つまり、当たり前で、日常的なこと、もっと言えば、取るに足らないつまらないことについても、徹底、言い換えれば、最後までやり遂げること、それが大切だ、というものです。毎朝早起きをして、学校に通い、朝の光があふれる静かな教室で一人淡々と勉強を始めることを貫いたという話を聴き、その様子をイメージした時、「凡事徹底」という言葉が私の頭に浮かびました。

皆さんも新しい生活をはじめ、そして将来に夢や希望を抱くときに、何をしようか、あれもしよう、これもしよう、と考えるはずです。その時は、何か思いもつかない奇策に走るのではなく、目の前にある日々のことを丁寧にやりきる「凡事徹底」が大切だ、と覚えておくことをお勧めします。三月に行われたその報告会を、この体育館の後ろで聞いていた私は、「凡事徹底」のできる実直さ、ひたむきさをもった本校の生徒だからこそ、夢を手に入れることができたのだ、そして、そのような集団こそが、46年間で現在の本校の姿かたちを作り上げたのだ、と気づきました。

皆さんも「凡事徹底」ができる集団の一員として、選抜されてきました。今日からの新しい日々を、実直に、「凡事徹底」ができる人として、生きていってほしいと願っています。そして、今日から始まる三年間の高校生活で身に付けた力は、私たち人類がいまだに解決できていない課題、戦争や飢餓、環境破壊、差別に貧困、あまりにも多くありすぎるこれらの課題の一つでも解決できるように、世界中の人々や、皆さんたちの後から生まれてくる人たちのために、惜しみなく発揮していける人に育ってほしいと願っています。社会は皆さんの登場を待っています。どうか、この三年間、誠実に実直な皆さんのもつ長所をいかし、大きく成長を遂げていってください。

結びに、本日、ご臨席を賜りました保護者の皆様に心よりお祝いを申し上げるとともに、今後とも、本校の教育活動に一層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げ、式辞といたします。

令和7年4月8日 東京都立小金井北高等学校長 石田健司